



# Sexual Harassment

セクシュアル・ハラスメント防止啓発委員会

## 「ノー」をめぐるすれちがいについて……………

森岡 実穂（セクシュアル・ハラスメント防止啓発委員）

セクシュアル・ハラスメントについていろいろな人とお話していると、かならず出てくる質問のひとつに、「イヤなことがあるなら「イヤ」って言えばいいんじゃないの？本人が毅然としてればさ」というのがあるんですね。これはしかし、実は二重の意味でむずかしいんです。まず、あまりそういう意識はないでしょうが、いまの社会の中では女性は多くの場合、「『ノー』ということが苦手」であるように育てられてきています。そして男性は、これも自覚はないでしょうが、「女性から『ノー』といわれると思ってない」のですね。

話をわかりやすくするために、ちょっと例をだしてみましょ。20ページに掲げた文章は、本学にセクシュアル・ハラスメント・カウンセラーとして勤務している稲邑恭子さんの訳による、カナダのある大学での「顔見知りによる性暴力を防ぐためのヒント」です。「顔見知り」にはいろいろな人の可能性があります、ここでは「デートでの性的アプローチ」について考えてみましょう。まあそれに手を握るからはじまっているいろいろあるでしょうが、どの段階であれ、つきあっている二人のあいだでも、「ノー」は聞いてもらえるものでなくてははいけないのですね。たとえば、これについて男子学生たちと話し合ったら、どんな意見がでてくるでしょう……？

\* \* \* \* \*

「だってデートでしょ？女の子もその気があるから来てるんじゃないの？」

いやいや、そうとは限りませんよ。まあそういうことも往々にしてあるでしょうが、それは本人にしかわからないんでね。

「いや、だって、今回がはじめてのデートってわけでもない場合とかは？」

うーん、あの、一回手を握ったらそのつぎの段階もOK、ってわけでもないんですよ。まずはその時の本人の意思がすべてでしょ？人間関係って、時間がたてばちょっとずつ変わっていくものだから、この間のケンカやしこりがまだのこってたりして、前とは同じ気分になれないこともあるかもしれないし、まだ彼女はあなたが思っているほど相手は気を許してないのかもしれないし。

「それは痛いところを……」

それに体調が悪いときもあるかもしれないしね。

「あー体調ね。それはそうかもね。」

学校までの距離とか、授業とかバイトとか、いろんなことがふたりの間で違うわけだから、かならずふたりとも同時に調子がいいとは限らないですよ。その日の相手の精神・身体両方の様子を見て、何より本人にどうしたいのか聞かないと。それにほら、エッチするかって話なら、女の子はそりゃ妊娠しやすい時期にはイヤでしょうよ。

「そう、それは問題。でも自分では正確にいつがまずいのか知らない。いつなんですか？」

・・・うーん、頭が痛い。今日はその問題にくわしくはふれられないので、婦人科のお医者さんたちがやっているサイト『オーキッドクラブ』 <http://www.orchid-club.gr.jp/html/orc3.html> で勉強してきてよ。

「でもほら、逆に女の子は自分から積極的に出にくいんだから、男が言ってやらないと」

いやまあ、今、「女の子は自分からは積極的に出にくい」って言ったじゃない？あなたが思っているとおりのところはあって、女性は一般的に、あんまり強烈に自己主張してはいけないというように育てられているんだよね。

「みんながみんなそうじゃないじゃん。」

そう、常に例外はいる。でもさ、たとえばほら、うちで何種類かケーキがあったとき、「おかあさんは最後に残ったのでいいわよ」っていうようなさ、古きよき女性の理想があるわけじゃない？今はそうでもないかもしれないけど（笑）、そういう風になりなさい、という無言の圧力はまだけっこうあちこちにあるよ。自分を抑えて場をなごませるっていうの？で、結果として、意見を対立させてまでも主張することに、男ほど慣れないことになっちゃうんだよね。つい守りに入ってしまふ。

でも、いまの話のようなおかあさんだって、「ほんとうはどれがいいの？」って聞けば、「チョコレートケーキがいいな」とか「モンブランはいや」とかあるはずでしょう？だから、どうしたいとははっきり言えない人の場合でも、どっかにはその人の意見はあるってことは多いんだよね。

「センセーはいつもはっきりしてるよね。『あたしはコレ』ってのが。」

ごめん、はっきりしてて（笑）、「強い強えー」といわれることも多かったさー。でもさ、「気が強い」という言葉って、「女」にしか使わないでしょ？「気が強い男」とはいわないよね？

「そうだね、そういえば。」

女の方は、あんまりはっきり主張するものと思われていない。だからこそ、それをする人は例外になるから、「気が強い」というネガティブな形容になるんだよね。ぎゃくに、男の方は主張するのが当然だから、「気が強い」とはいわれない。

とりあえず、今の日本では、女の子として教育をうけ成長するというだけで、主張という能力を育てるうえでどうしても不利なことから、その人が一所懸命主張していることについてはまじめに、割引なしに向き合っていきましょうよ。

「でも、男としてはやっぱり主導権をとりたいたいよね。」

そこが問題なんだよねー。女のほうとしては、それが分かってるから「違う意見をいったら傷つくかな？」って思うのよ。で、なんとかはっきり拒否しなくても分かってもらえないかなと、社交辞令をいったり笑ってごまかしたりしようとしちゃうことがあるんだな。

「はっきり「ノー」と言わないのは、気をつかわれてるってこと?!」

まあそういう側面もあるかと(笑) それに「ノー」といった場合、その問題についてだけじゃなくて、さっきあなたがいったみたいに、「男として」のプライドすべてまで否定されたように感じちゃう人は実際多いよね。単にいま問題になっていることがイヤなだけなのに「オマエは愛がたりない」とか「俺をバカにしているのか」とか言われてもー。

「しつもん。『イヤよイヤよも好きのうち』ってゆーのはどうなんですかー?」

それはまあ、もっとも難しいところですが(笑) でもさっき『女性は積極的に出にくいんだから』って言ったひとがいたよね? だから女性は『イヤ』というポーズをとっているんだ、という神話が信じられてしまっています。けどさ、「何も言わない(言えない)」でいても、「イヤ」と言っても、どっちにしても「俺が主導権をとらねば」っていうことになるんだったら、本当にイヤな時はどうすればいいの?

「う〜〜〜ん」

その女性が彼に好意をもっているほど、はっきり断るのは難しいとおもうのよ。だって、基本的に好かれない相手に対して、その人の存在を否定するようなことはいいたくないでしょう。でもいまあんまりバタバタ盛り上がりたくないんだよねー、というとき、彼女はどうすればいいんでしょうかー?

これはクラブの先輩や職場の上司とかでも一緒だよ。ちょっとイヤな冗談とかいわれても、普段仲良くしている人ほど、プライドを傷つけてはいけない、ましてや目上のひとだし・・・とか思って一緒に無理して笑っちゃったりするわけですよ。百人いれば百人感じ方は違うわけだけど、皆でわらっているような場面でも、そういう人は中にいるのかもしれないです。

「それは確かに、男同士でもあるもんね。」

そうそう。周りにあわせることも大事なこともあるかもしれないけど、誰かがイヤな思いをしてないかな、ってのも見回してチェックしてみてね。そして誰かが不快だと言ったなら、後輩だろうが部下だろうがその意見はちゃんと聞くことだね。どんな場でも、どんな人間でも、その人がどうしたいか最終的に決める権利はその人にあるんだから、

さっきの、おつきあいの場での話にもどるけど、とにかく自分ひとりで一方的に判断しないで、お互いの意見を交換してみてね。

「・・・でもそれは、やっぱりその場でいちいち直接は聞けないでしょう!？」

そりゃわざわざは聞きにくいだろうけど、とりあえずせめて相手が「今日はヤダ」と言ったらそれは尊重しなきゃー。あなたの言うように「言いにくい」人が、わざわざ言ってるんだからさ。まあ、彼女にかぎらず友達や同僚だってそうだけど、相手との距離は刻々かわるものだから、「その日の距離」にあわせておたがいが無理なく楽しいふるまいができるようにがんばりましょうよ。

## 「顔見知りによる性暴力を防ぐためのヒント」

カナダ・ブリテッシュコロンビア大学／女子学生部発行のパンフレットより（訳／稲邑恭子）

### 女性

- 率直に伝える
  - ・自分の中で、性的要求とその許容範囲（したいこと／したくないこと）を明確にする。
  - ・あなたの気持ちをはっきりと早めに表明する。
  - ・男と女は愛と性についてしばしば異なった解釈をする。
  - ・自分自身にとって受け入れられるものは何かを知る。
  - ・自分で自分自身の境界線を引く（嫌なことは嫌と言う）権利を信頼する。
- 自分自身の境界線を引くことに主張的である
  - ・受け身であることと婉曲なほのめかしは、たいていの場合、その行為が続いていいのだと解釈される。
  - ・控えめな拒絶は、良心的な相手にしか通用しない
  - ・NOをきっぱりと率直に繰り返すことを実行する。
  - ・いつでもその場を去る姿勢でいる。
- あなたはあなたの体の主人公である  
セックスは物々交換のゲームではない。あなたには費やされたお金や過去の性的行為に関係なく、いつやめるかを決める権利がある。
- 周囲の状況に注意を払う  
あなたの境界線を超えて侵入しようとする相手の狙いを予兆する身振りや表情などのサインを見逃さないように。あなたの直感を信じて、それにそって行動する。
- あなた自身の非言語的なメッセージに敏感に  
あなたの振る舞いや外観が誘惑しているように誤解されることがある。これが招かざる言い寄りの口実にはならないが、誤解される可能性のあることに注意する。あなたの行動があなたの意図するところから外れないように。
- アルコール類の濫用を控える  
アルコールは知覚を変化させ、明晰な思考、効果的なコミュニケーション能力を鈍らせる。酔った状態では、あなたは上記のいくつかの留意点を忘れるかもしれない。あなたが自分自身を大切にしなければならぬことを忘れないこと。他の誰も代わりにやってはくれない。  
  
あなたを守る唯一の完全なやり方などない。あらゆる状況はそれぞれ違って、違う対応を必要とする

### 男性

- あなたの性的要求とその許容範囲（したいこと／したくないこと）を自分の中で明確にする
  - ・あなたの気持ちをはっきりと早めに表明する。
  - ・あなたの性的な期待が女性とは違うかもしれないことをしっかり理解する。
  - ・性的でない関係を含めて、女性との違ったかたちの関係を考慮に入れる。
  - ・女を「口説いて陥落させる」ことを奨励する社会的プレッシャーに負けない。
  - ・あなた自身をかけがえのない一人の個人として尊重する。
- セックスを断られることは嫌われているということではない  
女性はあなたに全く、あるいはほとんど関係ない様々な理由で、性的な行為を躊躇することがある。彼女をかけがえのないひとりの個人として尊重する。
- あなた自身の体と行動に責任を持つ  
あなたは自分の欲望を制御できないと思うかもしれないが、あなたの行動はいつもあなた自身が決めたことの結果である。
- 誤解をしないように気をつける  
媚びをうったりセクシーな服装をするからといって性的に誘っているわけではない。もしあなたが同一の女性から見分けにくいメッセージを受けたら、そのことについて彼女に聞く。「あなたが何を望んでいるのか、よく分からないのだけれど」とか。そして相手の答えに耳を傾ける。
- 以前性的な関係があったことは、その関係が続くことを意味しない  
性的な関係は容易に代わる。あなたは他人の体に対して永久的な「縄張り」を主張することはできない。
- 女性の決断を受け入れる  
NOはNOを意味し、より適切に言えば、YESのみがYESを意味する。他の意味を期待しないこと。もし彼女が受け身ではっきりしないようだったら、彼女が性的な誘いに同意したと思わないこと。
- アルコール類の濫用を控える  
アルコールは知覚を変化させ、明晰な思考、効果的なコミュニケーション能力を鈍らせる。酔った状態では、あなたは上記のいくつかの留意点を忘れるかもしれない。酔っていたことは性暴力の口実にはならない。